



令和3年度

# 事業報告

令和3年度桐原学区協働まちづくり協議会の活動



## ◆安心安全のまちづくり事業

### 消防桐原分団

1. 初期消火指導及び訓練  
各自治会からの要請に応じて出動
2. 火災予防週間中の学区内巡回活動
3. 他学区火災への出動
4. 機材点検及び訓練（毎月）
5. 桐原コミュニティセンターでの消火訓練指導



### 交通安全協会桐原支部

1. 通学路交通安全啓発活動《毎月 1・15日街頭立哨》
2. 全国交通安全運動参加《春・秋》
3. 桐原学区交通安全七夕飾り展示【交通安全願い事】 コミセンロビー・駐在所
4. 通学路及び危険個所の草刈り・カーブミラー清掃実施
5. 青色防犯パトロール実施
6. 桐原小学校・桐原東小学校運動会警備 6名参加



## ◆健康福祉のまちづくり事業

### スポーツ振興協会

1. グラウンドゴルフ大会3回実施《町別対抗・個人戦・運動会代替事業》  
津田運動公園・グラウンドゴルフコースにて  
《参加者合計・160名》平均53名 5月30日・11月14日・3月6日
2. ふれあいジョギング《運動会代替事業含む》例年9回を12回にして期間延長  
午前7時30分より8時30分まで《110名参加・大人74名 子供36名  
10月3日より12月19日迄の日曜日に開催  
自宅よりコミセン迄ウォーキングかジョギングを行い健康維持に努めてもらう



参加者には、5回以上と10回以上に素敵なプレゼントと合格証を手渡した。



### 3. 探訪ウォーク

《桐原再発見ウォーク約7.5km》 参加者25名 10月24日(日)

学区内の市指定文化財・国登録有形文化財をコースに組み込み  
学区内の約半周程度のウォーキングをした。



### 4. 小学生マラソン大会

・2.2km 1~3年生《23名》 ・3.1km 4~6年生《58名》 12月12日(日)

桐原コミュニティエリアの外周にて開催

完走後に民生委員の方々が、子供達と付き添いの保護者の方に善哉をふるまってくださいました。



## 5. 第七回チャリティーゴルフコンペ

大甲賀カントリー倶楽部・油日コース 1月16日(日) 参加者 17名  
OB・池ポチャ等でペナルティーを決め集まった金額17,000円を  
近江八幡市の福祉基金に寄付を行った。

- ・ソフトボール大会・ビーチボール大会・子供ディスコン教室  
ボウリング大会・市民運動会・チャレンジスポーツ  
ニュースポーツ体験教室・理事研修会はコロナ感染拡大防止のため  
中止を余儀なくされた。



## 社会福祉協議会

### ・ふれあいサロン実施実績

31自治会の中で23自治会が実施されました。  
実施回数4回から最高267回の開催をして頂きました。

### ・地域支えあいふれあい見守り活動

昨年度に続き3年度もコロナウイルス感染拡大の観点から中止になった  
福祉のつどい代替案として75歳以上の高齢者の方々に不織布マスク10枚を  
メッセージを印刷した封筒を作り地域の民生委員・児童委員さんに配付をして頂き  
ふれあい見守り活動をして頂きました。

### ・給食サービス《ふれあい弁当》の実施

4月より翌年の3月までの間で18回実施《7・8・9月は食中毒予防のため休み》  
9か月間18回の実施で延べ1,062食を提供した。  
前年度より376食の増となりました。  
調理を担当して頂いたのは以下の4団体でした。

赤十字奉仕団・更生保護女性会

健康推進協議会・あさぎり会



### ・募金活動への協力

赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金その他

### ・平和への願いを込めた千羽鶴の受け取り

毎年、桐原保育園の園児や保護者、先生方の祈りを込めた千羽鶴を平和祈念式典で受け取り  
長崎や広島へ届けているが、コロナウイルス感染拡大の防止の観点から式典が中止となり代表者が  
保育園に出向き千羽鶴を受け取りました。  
受け取った千羽鶴は、長崎へ届ける予定になっています。



### ・子ども食堂《きりっ子食堂》

本来なら桐原小・桐原東小の両小学校にて実施していた子ども食堂もコロナウイルス感染拡大の防止の観点から、ボランティアスタッフの方々が、心を込めて作ったお弁当を希望者に無料配布をする形に変えて合計8回実施されました。



### 民生委員児童委員会

- ・まちづくり協議会事業への積極的な参加
- ・給食サービス《ふれあい弁当配食・見守り活動》
- ・挨拶運動・心配事相談・青色防犯パトロールへの参加
- ・小学生マラソン大会で善哉のふるまい等



### 健康推進協議会

- ・給食サービス調理に従事・4回

### 赤十字奉仕団

- ・給食サービス調理に従事・5回
- ・桐原小学校で清掃活動《美化運動》
- ・災害時の調理実習《エコクッキング・大阪ガスの協力を得て》
- ・ワクチン接種ボランティア7回
- ・子ども食堂調理
- ・清掃奉仕活動《延暦寺・ひまわり館・桐原橋・びわこ博物館等》



## 更生保護女性会

- ・給食サービス調理に従事・5回
- ・子ども食堂調理応援
- ・青色防犯パトロールに参加・巡回
- ・まちづくり協議会の事業には、社会福祉協議会の応援を主として活動をしている。

## ボランティアあさぎり会

- ・給食サービス調理に従事・4回
- ・子ども食堂調理応援・8回
- ・青色防犯パトロールに参加・巡回
- ・金曜茶屋調理に従事
- ・桐原小・桐原東の両小学校の掃除ボランティア



## 老人クラブ連合会

- ・輪投げ大会を実施 12月7日・桐原コミセン大会議室 43名参加
- ・学区内の保育園・子ども園2校にサンタクロースの衣装を着て訪問、プレゼントを渡した。



## ◆環境のまちづくり事業

### 環境推進協議会

- ・一年を通して月2回の日野川・白鳥川周辺でゴミの不法投棄監視パトロールを実施している。  
不法投棄6件を発見、環境課に連絡処理依頼
- ・緑のカーテン・ゴーヤ苗配付
- ・自治連合会と合同の白鳥川・日野川河川敷でのゴミ拾いは雨天中止
- ・不法投棄禁止看板設置



## ◆次世代を育むまちづくり事業

### 青少年育成部会

・人材育成部会から青少年育成部会に名称を変更、青少年育成学区民会議が中心となって運営

### 青少年育成学区民会議

#### ・挨拶運動

1学期・3学期初日に実施 《2学期コロナ感染拡大の防止の観点から中止》

桐原小学校・桐原東小学校・八幡西中学校・游こども園・HOPPA 近江八幡協賛団体《民生委員児童委員協議会・少年補導委員会・保護司》



愛の学校訪問 7月2・8・9日の3日間《懇談なし》

#### ・花いっぱい運動

八幡西中学校の2年生が育ててくれたミニひまわりを受け取り  
コミセン・小学校・学童クラブ・保育園・子ども園等に届けた。



#### ・夏休み夜間パトロール

青少年育成学区民会議の理事が2人一組で休み期間の  
金曜・土曜日に青色防犯パトロール車で巡回を実施。

#### ・社明大会開催

7月10日にコロナ感染対策と規模を小さくして開催

第一部 桐原駐在所 堀内 愛斗さんより

昨今の青少年を取り巻くネット犯罪の状況について

第二部 DVD視聴「子供と学ぶネット社会」

スマートフォン・ゲーム機等の使い方によっては  
危険性が生じる事例を学んだ。

第三部 小中学生優秀作文の表彰式と最優秀の発表

挨拶の大切さや環境問題、フードロスへの問題提起  
命のつながり等素晴らしい作文が寄せられました。



#### ・桐原小学校防災教室支援

1月25日、3年生対象の防災授業に4名が参加をして、段ボールの間仕切り組み立ての応援と  
非常食の配付を全員に行った。



・コミセン前イルミネーション設置

コロナ禍の中で、少しでも学区民に癒しの場を提供したいと考え事務所前の植え込みに  
新中小森自治会の有志の方々に手伝って頂きイルミネーションの設置をした。

12月23日より2月末まで点灯



子ども体験活動

・ペットボトルロケット制作

7月29日・桐原小学校 20名参加      7月30日・桐原東小学校 17名参加

各学校の工作室でペットボトルロケットを制作してグラウンドで発射体験を行った。



よし灯り作り

・8月11日に桐原っ子ホールにて18名の参加で、9月25・26日に安土B&G海洋センター(西の湖)  
周辺で開催されたよし灯り展に出品するために親子・友達同士・おばあちゃんと孫それぞれが、個性  
豊かな作品作りを楽しんだ。

その中で、3名が西の湖賞に選ばれた。



	事業内容	子ども	大人	サポーター
4/13	開校式・身体測定	10	9	10
4/20	自由遊び	5	4	9
4/27	こいのぼりを作ろう	10	9	5
5/11	自由遊び	4	3	4
5/18	自由遊び	7	6	3
5/25	おやつづくり	7	6	5
6/1	自由遊び	9	8	4
6/8	ペットボトルシャワー作り	9	8	4
6/15	自由遊び	8	8	4
6/29	体操遊び	11	10	3
7/6	七夕飾り作り	8	7	4
7/13	水遊び	12	10	3
7/20	水遊び	7	7	4
7/27	水遊び	9	8	4
8/3	水遊び	5	5	4
8/17	水遊び	2	2	3
8/24	水遊び	1	1	3
10/12	運動遊び	12	9	4
10/19	自由遊び	2	2	3
10/26	おもちゃ作り	5	4	5
11/9	リズム遊び	11	10	4
11/16	プレゼント作り	8	7	4
11/30	自由遊び	4	3	4
12/7	自由遊び	6	6	4
12/14	クリスマスグッズ作り	9	8	4
12/21	お楽しみ会	15	12	4
1/11	お正月遊び	5	4	4
3/15	閉校式・お別れ会	5	4	4
	合計	206	180	120

8月末から9月末迄と1月末から3月初旬までの間は、  
 コロナ感染拡大防止の観点から開催を中止としました。



## ◆ふるさと文化育成事業

### 第 43 回桐原学区民文化祭 文化振興協会

#### ・コロナ感染拡大の防止の観点から中止となった

役員会・理事会・文化委員会で開催方法を模索し展示の部だけでも開催の方向で検討されたが多くの人が集まる事が、コロナ感染拡大の防止の観点から開催は困難と判断し中止と決定した。

### 生涯学習事業

- ・令和3年度も各種の講座を開催したいと考えていたがコロナ感染拡大の防止の観点から1つの講座のみ開催で終える事になった
- ・サンドブラスト体験 8月18日 講師・ガラス工房ぎやまん 参加者24名



#### ・第9回桐原ふれあい会【コミセン利用サークル団体】

コミセン利用団体の活動発表とサークルへの入会促進のために開催をしているが昨年度に続き3年連続で開催の中止を決断した。《コロナ感染拡大の防止の観点から》

## ◆人権のまちづくり事業

### 人権尊重のまちづくり推進協議会

#### ・地域別まちづくり懇談会

31自治会がある中で、2自治会が役員だけの学習会を開催して頂き15自治会が資料の配付や回覧等で実施をして頂いた。コロナ禍の中、実施方法でご苦労頂いたと感じています。

#### ・住みよいまちづくり推進講座

令和3年度は、感染対策を取りながら開催することが出来た。

6月12日 《新型コロナウイルス感染症と人権》 参加者73名

講師 田邊 九二彦さん

6月19日 《このまちが好きだから・京都・崇仁地域》 参加者81人

講師 藤尾 まさよさん《京都・崇仁発信実行委員会・委員長》

6月26日 《見えない障害の理解を深めよう》 参加者77名

講師 啓発キャラバン隊 花bee



## ◆コミュニティ活動推進事業

### 総務広報部会

- ・まち協だより(月間) 毎月発行・A3版両面《7,000枚/月》
- ・まち協ホームページ 毎月更新・9月よりコミセン施設及び体育施設の予約状況を公開した。  
アミンチュによるサークル団体の紹介動画を Link した。
- ・コミュニティ功労事業  
安心安全のまちづくり賞 1団体《新中小森町・新中ふれあいサークル》  
特別功労賞 1名《故 中西 善英・前まち協会長》  
長寿奨励賞 2名 100歳《二木 房江・桐江 みと》

### 省エネ脱CO2令和3年度の取り組み

#### ・生ごみ堆肥化講習《段ボールコンポスト》

昨年に引き続き2年目の取り組みとなった講習会は、全8回72名の参加者があった。地球温暖化防止のために個人が取り組める手段として、講習を受けた後コンポスト作りを行った。初回に2箱分の材料を渡し9月以降に3箱目の材料を無料提供した。出来上がった堆肥一箱で新米2kg・2箱で5kg・3箱で8kgと交換を行った。1箱を12人が、2箱を16人が、3箱を5人の方が堆肥を作って持って来ていただいた。



#### ・出来上がった堆肥で稲作作り

昨年度より出来上がった堆肥を圃場に散布して、米作りの取り組みを実施している。市民生ごみリサイクルプロジェクトと立命館大学の協力を得て、堆肥の散布を行った土壌がどのように変化をしていくか、また出来た新米の残留農薬検査や食味の検査等を3年間続けてデータを集めて今後の地域ブランド米作りに役立てていければと考えている。

堆肥利用の圃場に看板を制作し設置を行った。



・CO2 ネットゼロ未来賞受賞《しがCO2 ネットゼロムーブメント》

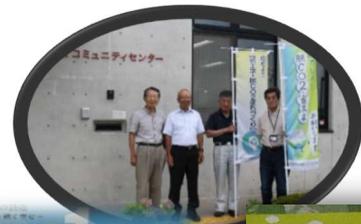
2050年CO2 ネットゼロ社会の実現に向けて優れた取り組み等を称える新たな表彰制度

滋賀県が2050年CO2 ネットゼロの実現に向けて、県内で優れた取り組みを行った個人や事業者、団体の功績を称え、取組の水平展開を図るために実施をした表彰制度

桐原学区が、令和元年7月に「まちづくり」の視点からCO2 ネットゼロの住民運動に取り組もうとする全国で初めての宣言『省エネ脱CO2 まちづくり宣言』から様々な取り組みや活動に対して地域づくり部門での表彰を12月11日に大津のピアザ淡海で行われたシンポジウムで表彰を受けた。



- ・県広報紙「滋賀+1」の取材を受け、まちづくり協議会が取り組んでいる『省エネ脱CO2 まちづくり』について 9月号に掲載されました。
- ・滋賀県議会 琵琶湖CO2 ネットゼロ対策特別委員会の県民参画委員会にて、県内各地でCO2 削減に取り組まれている団体の皆さんと県議会議員の方々とで事例発表や意見交換をしました。



・桐原学区での脱炭素地域づくり推進会議

環境省が進めている脱炭素先行地域100カ所に入れるよう近江八幡市も巻き込んでロードマップの作成会議を、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、近江八幡市環境課・総合政策部・桐原学区まちづくり協議会6人と滋賀県立大学の平岡 俊一氏を座長に迎え企業代表の(株)尾賀亀代表取締役社長尾賀 康裕氏にも入って頂き検討ワーキングを4回実施した。

具体的な取組については更なる検討が必要であり市が、本腰を挙げてくれないと到達は厳しい。

## ・青色防犯パトロール

各種団体からパトロールの年間スケジュールを提出いただいて、月に最低4回以上の巡回パトローを実施する事が出来た。

昨年度も各種団体の方々に青パトの講習を受講していただきパトロールに必要な知識を身につけてから乗車して頂く様にパトロールボランティアの増員を図っている。

## ・金よう茶屋

11月12・26日の2日間のみ開催できた。コロナウイルス感染拡大防止の観点から殆ど開催出来ず。



## ◆成果と課題

・令和3年度もコロナで始まりコロナで終わる、そんな一年になってしまった。

まちづくり協議会の3大事業、市民運動会・文化祭・福祉のつどいが2年続けて中止になる等、事業存続も危ぶまれる事態となってきた。

昨年9月の緊急事態宣言を受けてコミュニティセンターも貸館停止となり各種団体や利用サークルの活動・会議が出来ない状況だったが、出来る事をやろうと知恵を絞り代替案を出す等、繋がりが途切れない様に工夫してもらえた事が大変良かった。

### (1)安心安全のまちづくり事業

・防災安全部会として、コロナウイルス感染拡大の防止の観点から防災リーダー講習が行えなかった。

#### 桐原消防分団

- ・自治会からの消防訓練もコロナ感染拡大の防止の観点から激減した。
- ・他学区で発生した火災の出動回数は、増えた。

#### 交通安全協会桐原支部

今年は、一年を通して通常の活動を行うことが出来た。

### (2)健康福祉のまちづくり事業

・スポーツ事業もコロナ感染拡大の防止の観点から出来ない事業が多かったが、屋外で実施する密にならない事業は、感染対策を取って行う事が出来た。

・ふれあいサロンは、感染対策を取りフレール予防も兼ねて、町内の繋がりを深めてもらう事が出来た

・子ども食堂もコロナ感染拡大の防止の観点から、給食スタイルからお弁当タイプに変えて実施をした

・給食サービスは、今年度予定通り楽しみに待っていただいている方へ届ける事が出来た。

・福祉のつどいは、中止となったが、代替事業の地域支えあいふれあい見守り活動に変えて実施をした

・平和祈念式典も中止となったが、毎年保育園にお願いをしている平和を願って折って頂いた千羽鶴は桐原学区社会福祉協議会が受け取り長崎の平和公園に届ける予定。

- ・民生委員児童委員協議会は、コロナ禍においても、活動を止める事無く更に忙しさを増した。
- ・赤十字奉仕団は、ワクチン接種ボランティア等様々な活動を行って頂いた。
- ・更生保護女性会は、ふれあい給食調理だけでなく青パト巡回にも協力をして頂いた。
- ・ボランティアあさぎり会は、様々な調理に従事をして頂き、桐原の小学校2校の掃除ボランティアをして頂き感謝をされている。
- ・老人クラブコロナ禍の中、活動自粛も有ったが、保育園やこども園へのサンタクロースの衣装で訪問プレゼントを渡すことが出来て子供たちから喜ばれた。

### (3)環境のまちづくり事業

- ・月2回の不法投棄巡回パトロールは、各自治会の環境委員さんの協力のもと実施できた。  
それ以外の活動は、ゴーヤ苗の配付だけであった。

### (4)次世代を育むまちづくり事業

- ・親子プレイステーションは、緊急事態宣言が出た影響で8月末から9月末までと2月3月の期間をコロナ感染拡大の防止の観点から休みにしたがその他の月は開催することが出来た。  
また、コロナ禍で沈みがちな雰囲気を明るくするために、青少年育成学区民会議の発案で、コミセン前に12月からイルミネーションの飾りつけをして2月末まで点灯することが出来た。《好評を得た》
- ・青少年育成学区民会議の事業は植樹祭を除けば他の事業は予定通り開催することが出来た。

### (5)ふるさと文化育成事業

#### 第43回桐原学区民文化祭 文化振興協会

- ・9月に緊急事態宣言が出された影響で、理事会・文化委員会で開催の是非が問われ展示の部だけでも開催しようと計画したが、人が集まる事が敬遠される中で、開催する意味があるのかとの声が多数出て全てが中止となった。

#### 生涯学習事業

- ・サンドブラスト体験以外の講座は、コロナの感染拡大防止の観点から取り止めになった。
- ・コミセン利用のサークル団体で行う第9回のふれあい会も感染拡大防止のため中止となった。

### (6)人権のまちづくり事業 人権尊重のまちづくり推進協議会

- ・令和3年度は、感染対策を十分取りながら、住みよいまちづくり推進講座を開催する事が出来た。
- ・各自治会に於いても地域別まちづくり懇談会を開催していただいた自治会も有れば資料配布のみで終了された自治会も有った。
- ・年度末に懇談会反省会の代わりに、伊藤真波さんの講演会を開催予定だったが、オミクロン株流行で、中止となった。
- ・講演会を楽しみにされていた  
多くの人から残念との声が聴かれた。



## ◆コミュニティ活動推進事業

- ・まち協だよりも滞りなく各世帯へ届けることが出来・ホームページを充実することが出来た。
- ・BBC のアミンチュでコミセン利用サークルの紹介を沢山してもらった。
- ・市民運動会は、コロナの感染拡大の観点からで開催を断念した。
- ・省エネ脱 CO2 の取組は、滋賀県が 3 年度に創設した CO2 ネットゼロ未来賞の取組の中で、他の候補がいる中、桐原学区の地域住民が行っている取組が、特に優れていると認められ地域部門賞を受賞し滋賀県知事の三日月知事から表彰を受ける事が出来た。
- ・生ごみ堆肥化事業は、2 年目を迎えたが、コロナウイルス感染症の影響を恐れ参加者も伸び悩んだが出来た堆肥と新米との交換には、多くの方が来ていただき集まった堆肥で稲作作りの実験を、3 年間行いブランド米作りに役立てようと試みている。
- ・環境省からの脱炭素先行地域 100 カ所に入れるよう近江八幡市と共同で検討を重ねている。
- ・青色防犯パトロールは、参加団体も増え講習受講をして頂いた方も増加した。
- ・金よう茶屋は年間を通して 2 回の開催で終わったが、楽しみに待っておられる方のためにも次年度に期待したい。

## 課題

- ・令和 4 年度は、コロナ感染拡大防止の対策等を徹底し、如何に事業を進めて行くかが、最大の課題であり、各種事業の在り方〈内容・規模〉をもう一度考え直す時期だと考える。
- ・4 年度は、民生委員児童委員児童委員の方々の任期も終わり大幅な入れ替えもあると聞いておりその他の団体も人員の入れ替えや役員交代もあるので、事業をしていく上での各団体の舵取りが難しくなる恐れがある。